古賀市　記者発表資料

・国交省「地域づくり表彰」で新設賞の第１号を受賞！

・全国初のモデルを体験できる「1 泊 2 日トライアルツアー」を開催

古賀市のインキュベーション施設**「快生館（かいせいかん）」**が、国土交通省主催の令和 7 年度「地域づくり表彰」において、**今年度新たに創設された「全国二地域居住等促進官民連携プラットフォーム賞」**の栄えある**第１号受賞団体**に決定しました。

あわせて、この「全国モデル」として高く評価された快生館の環境やコンテンツを実際に体験いただける**「快生館プログラム 1 泊 2 日トライアルツアー」**を開催し、参加企業・団体を募集します。歴史ある温泉旅館を再生し、新たな人の流れと経済循環を生み出す現場を、ぜひこの機会にご体感ください。

■実施日時・スケジュール、場所または事業名など

1.令和 7 年度「地域づくり表彰」 表彰式について

受賞名：全国二地域居住等促進官民連携プラットフォーム賞（今年度新設）

場所：博多国際展示場＆カンファレンスセンター303 会場

日時：2025 年 11 月 28 日（金）13 時～（「二地域居住推進フォーラム」内にて）

2.快生館プログラム 1 泊 2 日トライアルツアー

日時：2025 年 12 月 5 日（金）13 時 30 分 ～ 6 日（土）12 時 30 分（1 泊 2 日）

場所：古賀市インキュベーション施設「快生館」（福岡県古賀市薬王寺 95）

対象：企業・団体の経営者、チームリーダー、人事・総務担当者など

定員：10 名程度（先着順・最少催行人数 5 名）

申込： 公式 HP 内フォームより事前申込（https://kaiseikan.info/toraialtour2025/）

申込期限：**2025 年 11 月 30 日（日）**※定員に達し次第、受付を終了します。

■目的やキャッチフレーズ、アピールポイントなど

1.入居 20 社・利用者 3,000 人超！確かな実績で選ばれた全国初の受賞モデル

昭和 59 年から続く歴史ある「地域づくり表彰」において、二地域居住促進のために新設された賞の全国第 1 号として快生館が選ばれました。歴史ある温泉旅館を「泊まれるワークスペース」として再生。現在、入居企業は 20 社を超え、企業合宿の受入れや体験型ワーケーション、マルシェ開催などの取組により、年間のべ 3,000 人以上の利用者を生み、イベントや視察等で全国から多くの関係人口も創出しています。この「稼げる地域づくり」と「持続可能な二地域居住モデル」としての高い実績が評価され、今回の快挙に至りました。

2.「非日常体験×学び×交流」で組織を強くする企業合宿

今回のトライアルツアーは、受賞理由ともなった快生館のコンテンツ（温泉、自然、地域体験）を活用した企業合宿の体験版です。「会議室では生まれないアイデア」や「日常を離れてこそ見えるチームの可能性」を引き出します。経営者・リーダー同士の質の高いネットワーキングの場としても活用いただけます。

■トライアルツアーの主な内容

組織づくりやチームビルディングに効果的な「快生館」ならではのプログラムです。

没入できるワークタイム： 温泉旅館の風情を残したコワーキングスペースや個室での集中作業

地域課題を学ぶ「ジビエ精肉見学」： 地域資源の活用と命の循環を学ぶスタディツアー

対話を生む「焚き火・テントサウナ」： 自然の中でのリラックスした状態で、本音の対話を促進

市長参加の「ビジネス交流会」： 参加企業、古賀市、運営スタッフを交えた夕食交流会

心身を整える「天然温泉・朝ヨガ」： 薬王寺温泉の湯と、澄んだ空気の中でのヨガでリフレッシュ

■参考：快生館（受賞団体）について

かつて地域に愛された温泉旅館を官民連携によりリノベーション。2021 年よりサテライトオフィス兼コワーキングスペースとして運営。「コミュニティマネージャー」がハブとなって都市部人材と地域事業者をつなぐ役割を果たしています。

【問い合わせ先】
■ トライアルツアー・施設に関するお問い合わせ
株式会社 SALT（快生館 運営受託事業者）
担当：相良（さがら）
TEL： 092-410-4771
E-mail： info@kaiseikan.info
■ 受賞の取材に関するお問い合わせ
古賀市 総務部 経営戦略課　中田、永利
TEL： 092-405-0111

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

令和7年11月20日
国土政策局地方政策課

網走市・塩尻市・今治市の地域づくり3団体が「国土交通大臣賞」を受賞

～「新時代に地域力をつなぐ国土」を体現する10団体を令和7年度「地域づくり表彰」受賞団体に決定～

国土交通省は、関係団体との共催・後援で、創意・工夫ある「地域づくり」活動の優良事例を表彰する**「地域づくり表彰」**を、昭和59(1984)年以来、実施してきています。
今年度は、共催者に「全国二地域居住等促進官民連携プラットフォーム」が加わり、新たに「全国二地域居住等促進官民連携プラットフォーム賞」を創設しました。全国各地より、数多くの個性豊かな事例を推薦いただき、優良な10事例について、**「国土交通大臣賞」**等で表彰することとしました。

いずれも、それぞれの課題解決を契機にして、地域の持続可能性の向上・拡大に繋げている取組です。
これらは、国土づくりの目標として、**「新時代に地域力をつなぐ国土」**を掲げ、令和5年7月に閣議決定された、**「第三次 国土形成計画（全国計画）」にも呼応するもの**で、**「持続可能な生活圏の再構築」**や、**「地域を支える人材の確保・育成」**といった重要施策に対応する**先進的取組**と言えます。

各受賞団体には、受賞を契機に更なる活発な活動の展開を、また、全国各地の皆様には、各事例をご参照いただき、地域の課題の克服や魅力の向上に向けた取組の更なる進展を期待しています。

○ 主 催：国土交通省、 全国地域づくり推進協議会*、全国二地域居住等促進官民連携プラットフォーム**、
一般財団法人 国土計画協会
後 援：株式会社 日本政策投資銀行
○ 本表彰制度は、**昭和59(1984)年**に始まり、**今回で42回目**
○ 今年度は、全国各地から**32団体**が推薦され(昨年度45団体)、うち**10団体**(昨年度9団体)を表彰
○ 各団体の取組の詳細や表彰の様子等は、国土交通省サイト及び特設サイト(※)で紹介
(※)「地域づくり表彰」特設サイト(一般財団法人 国土計画協会) **https://www.chiikizukuri.kok.or.jp/**
○ 「第三次国土形成計画(全国計画)」
https://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kokudokeikaku_fr3_000003.html

表彰名	受賞団体名または活動名(所在地)　(全国地方公共団体コード順)
国土交通大臣賞	MOTレール倶楽部(北海道網走市)
	塩尻Lab(長野県塩尻市)
	せとうち みなとマルシェ実行委員会(愛媛県今治市)
全国地域づくり推進協議会 会長賞	「まめ」新聞有志会(新潟県上越市)
	京田辺 農福観 地域づくり協議会(京都府京田辺市)
全国二地域居住等促進官民連携プラットフォーム賞	快生館(福岡県古賀市)
国土計画協会会長賞	白山瀬波の会(石川県白山市)
日本政策投資銀行賞	くどやま芸術祭実行委員会(和歌山県九度山町)
地域づくり表彰審査会 特別賞	市東地域 15町会 共創プロジェクト(千葉県市原市)
	新井宿駅と地域まちづくり協議会(埼玉県川口市)

*:「全国地域づくり推進協議会」は、地域づくり活動の発展・拡大に資することを目的とした地方公共団体からなる協議会
**:「全国二地域居住等促進官民連携プラットフォーム」は、二地域居住等を促進していくための官民の協議会
○ 表彰式の日時・場所等については、各自治体(別添資料3参照)にお問合せください

「地域づくり表彰」の詳細、過去の事例については
地域づくり表彰　で検索を

【問合せ先】
国土政策局 地方政策課　渡部、馬場
代表:03-5253-8111(内線29-404、29-422)
直通:03-5253-8363

全国二地域居住等促進 官民連携プラットフォーム賞

快生館（福岡県古賀市）

～ 湯けむりと　ビジネスでつなぐ　二地域 ～

●活動の概要

地域に愛された歴史ある温泉旅館「快生館」を、官民連携により、二地域居住や企業誘致の拠点となる宿泊可能なワークスペース兼インキュベーション施設として再生。入居企業は2025年11月現在20社を超え、企業研修や合宿の受入も増加。さらに、古賀市の移住促進プロジェクト「古賀市親子移住体験」の拠点としても活用。駐在スタッフとして「コミュニティマネージャー」を配置することで外部人材と地域をつなぐハブ役を果たし、都市部人材が地域事業者や地域文化と直接触れる機会を創出、移住者の誕生や二地域居住を検討する都市部人材の受け皿としても機能することとなり、地域経済や交流の活性化に寄与している。ソフト面では、地域資源を活かした「テーマ型体験ワーケーション」の開催や、地域と共創する酒まつり等のマルシェを開催し、交流や消費を通じた地域経済循環を創出。

中でも、『狩猟体験ワーケーション』は、地域課題である有害鳥獣を命と向き合う体験資源として活用しており、地域のマイナスをプラスに転化することに加え、人手不足が深刻化する猟師の課題周知・育成にもつながっている。スタッフ自身も狩猟免許を取得し猟友会に参画、有害鳥獣駆除隊員として伴走するほか、様々な地域課題に対しても持続可能な産業モデルの実践に取り組んでいる。



「快く生きる」を体現する地域共創型マルシェ
「鹿の湯 酒まつり」



温泉×ワークの発想から生まれた
「湯治ワーケーション」での足湯

●選定理由

全国各地で同時発生している遊休施設の有効活用・再生の事例として、また「稼げる地域づくり」の資する新ビジネスを支援するインキュベーション拠点として、都市部の人材や企業を惹きつけ、彼らを触媒として地域に新たな経済循環を創出しはじめている。

いわゆるワークスペースとしての運営に加え、企業合宿の受入れや体験型ワーケーション、マルシェ開催などの取組により、年間のべ3,000人以上の利用者を生み、イベントや視察等で2,000人もの関係人口も生んでいる。

また、来訪者の消費行動を地域全体に波及する創意工夫により、「快生館」を起点とする地域内経済循環も創出している。 その結果、周辺にオートキャンプ場や飲食店が開業する等、新たな民間投資が生まれている点も評価でき、地域に貢献する二地域居住を牽引するモデルとして、優良な事例といえる。

■問合せ先■　古賀市　総務部　経営戦略課　　☎ 092-405-0111